



ぐるり庄原  
カメラ  
レポート



伝統のたすきリレー

第54回庄原市スター式駅伝大会



つなげ！たすき

庄原の冬を代表する恒例のイベント「庄原市スター式駅伝大会」が12月4日(日)に開催され、「中学校」、「高校」、「一般」など6つの部門に、県内各地から計71チーム約700人が参加しました。

開会式で、選手宣誓やあいさ

つがあった後、選手は総合体育館前のスタート地点へ。号砲とともに選手たちが勢いよく駆け出し、たすきをつなぎました。当日は、気温も低く小雨混じりのあいにくの天気でしたが、訪れた多くの人から声援や拍手が送られていました。



師走の庄原路へ駆け出す



自慢の品が並ぶ自分たちのお店

九日市に庄原小6年生が出店

中本町筋などで毎月9日に開催されている「九日市」。「まちかどネットワーク庄原わくわく隊」が中心となって開催するこの市には、地元だけでなく市外からも出店があり、野菜や果物、惣菜や手づくり工芸品などが多く並びます。

12月9日(金)には、庄原小学校の6年生がキャリア科の授業の一環として出店しました。子どもたちは、各クラスでお店を出し、この日のために自分たちで作った小物や雑貨、家で眠っていたものなどを、「いらっしやいませ」、「ありがとうございました」と元気に声を出して売っていました。児童の一人は、「物を売るのは難しいけど楽しい。完売が目標です」と元気に話してくれました。



「いらっしやいませ！」子どもたちが元気に接客



## 思いを込めた作文が全国大会で受賞

### 全国中学生人権作文コンテスト

人権尊重の大切さや豊かな人権感覚を身につけようと、法務省と全国人権擁護委員連合会では、毎年「全国中学生人権作文コンテスト」を開催しています。今年このコンテストの庄原地区において、高野中学校1年生の古家麻理絵さん、正木奈杏さん、泉円香さんの3人が優秀賞を受賞しました。

さらに、おばあさんの戦争体験談から、戦争のない平和な世の中になるように努力しなければいけないと綴った古家さんの「祖母のなみだ」と題した作品は、広島県大会でも優秀賞を受賞し、全国大会へ推薦され、みごと奨励賞に輝きました。

12月15日(木)には、法務局や庄原人権擁護委員協議会から関係者6人が高野中学校を訪問。表彰状を手渡し、「庄原地区大会では優秀賞の5人中3人が高野中学校の生徒。また、2年連続で全国大会の奨励賞を受賞するなど、素晴らしいですね」と絶賛していました。



(左から)受賞した  
正木さん、泉さん、古家さん



## 白銀の世界へようこそ

### スキー場がオープン



真っ白な世界でスキーを楽しむ

県内各地で大雪となった12月17日(土)、比和町にあるスキー場がオープンしました。当日は1mを超える積雪があり、吹雪となりましたが、スキー場にはこの日を待ち望んでいたたくさんのスキーヤー、スノーボーダーが多く訪れ、グレンデにはぎわいました。

毎年、約6万人の来場者があるこのスキー場には、中国四国はもちろん、遠くは九州からも訪れるひとがあります。近くには宿泊施設もありますので、ぜひおいでください。



雪がたくさん降る中でオープン



## 心温まる一日

### ハートフルヒューマンフェスタ2005



Keikoさん(写真左)と記念の握手

12月10日(土)、身体障害者療護施設「ともいきの里総領」でハートフルヒューマンフェスタ2005が開催されました。このフェスタは、毎年、人権週間、障害者週間にあわせて開催しているもので、今年は手話教室の子どもたちの手話を交えた歌や、手話サークルによる紙芝居のほか、寝たきり・車椅子生活を克服し「再生のボーカリスト」といわれるKeikoさんがゲストとして登場。自分の体験や思いを優しく前向きに語るKeikoさんの話に、参加した皆さんは真剣に聞き入り、歌の場面になると手拍子をして会場は盛り上がり、また全員で「きよしこの夜」を歌うなど、温かくおだやかなひとときを過ごしました。



手話を交えた子どもたちの歌



## 年の瀬を感じる恒例行事

### 第29回歳末たすけあい芸能大会

12月4日(日)、西城中央公民館で第29回歳末たすけあい芸能大会が開催されました。この行事は、29年間続いている恒例行事で、主催は庄原市社会福祉協議会、運営スタッフはボランティア、出演者は地域の方という手作りの大会。今年、町内外19団体が出演したほか、飛び入りゲストなども多数参加され、三味線や民謡、演劇などで楽しく盛り上がりました。また、観客席に置いた募金樽には総額238,784円が寄付され、この募金は一旦県の共同募金会へ送られ、再配分されて地域の福祉活動に使われます。



地域の皆さん手づくりのステージ



## 地域の代表として活躍

### 東城サッカースポーツ少年団

11月26日(土)、世羅町のせら香遊ランドで、県内の小学生女子が出場する「第12回広島県少女サッカー大会」が開催されました。



ボールめがけてダッシュ

この大会には、東城サッカースポーツ少年団から、小学6年生の塩出日香莉さんと田川瑛利加さん、5年生の小林美菜さんと武島由衣さんの4人が、福山地区選抜チームのメンバーとして出場。試合では、日ごろの練習成果を発揮し、チームはみごと準優勝に輝きました。さらに、塩出さんと小林さんは県代表として選拔され、3月4日・5日に鳥取県で開催される中国大会に出場することになりました。皆さんのさらなる活躍を期待しています。



東城サッカースポーツ少年団の4人が所属した選抜チーム。準優勝おめでとう！



## 新しい体育館で技を競う

### 第18回口和招待少年柔道大会



多くの子どもたちが集まり、日ごろの成果を発揮



12月11日(日)、完成したばかりの口和中学校屋内運動場で、第18回口和招待少年柔道大会が開催されました。大会には、遠く島根県や鳥取県、広島市、東広島市などから、総勢32チーム・285人が参加。選手の皆さんは、練習で磨いてきた技と力を存分に発揮し、試合を見守る保護者の熱い声援の中で、素晴らしい試合を展開しました。

地元から参加した口和柔道教室も、団体戦・個人戦ともに良い成績を修め、充実した一日となりました。